

食品ロス削減に向けた内閣府の取組

第2次食育推進基本計画(抄)

食に関する感謝の念と理解

世界の食料事情は、現在、9億人を超える人々が飢餓や栄養不足で苦しんでいることを始めとして、楽観視できない状況にある。このような厳しい状況を理解して、「もったいない」という精神で、食事ができることに感謝の念を持つことは、食育の極めて大切な要素である。(以下略)

食育白書において、各省庁における食品リサイクルと食品ロスの削減に関する取組を記載

○平成27年版食育白書

・コラム

消費者庁による「料理レシピサイト『クックパッド』への『食材を無駄にしないレシピ』の掲載」を紹介

・事例

家庭で余った食材を持ち寄りシェフに調理してもらいみんなで食べる「サルベージ・パーティ」の取組や、食品関連事業者等から寄贈された食品を福祉施設等に届けるフードバンクの取組等を紹介



食品ロスや食品表示についても記載した「食育ガイド」を都道府県、関係団体等へ配布するとともに内閣府HPに掲載



・6月の「食育月間」実施要綱において、「食品ロス削減等環境への配慮」を含めた「食を大切に作る気持ち」を重点事項として定め、関係機関・団体等へ通知及び公表

・食育推進全国大会(平成27年度:墨田区)を開催し、出展団体による食品ロス削減に向けた取組の紹介・展示を通じて普及啓発

・都道府県食育担当課を通じた普及啓発

